

NO	施策	事業名 【事務事業 コード】	部名及びグ ループ名	開始 年度	終了 年度	事業 区分	会計 種別	大型 事業 推進 プラン 掲載 事業	Plan・Do																	Check			Action								
									事業概要				事業の成果、目標						各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】							第2期基本計画第3次実施計画期間 (H24～H27)及び平成28年度にお ける事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項 など (妥当性、有効性、効率性、成 果)									
									事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業 の場合は、施 設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、 要綱等	指標名	単位	H26 実績	H27 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標	名称	H26 決算	H27 決算	H28 予算					H29 予算案	H30 予算案	H31 予算案					
3	1-①	各種がん検 診料金助成 金	保健 福祉 部	国民 健康 保険 G	H13	-	ソフト	国民 健康 保険 特別 会計	がんの早期発見、 早期治療を目指す ことを目的とする。	H26	国民健康保 険被保険者 各種がん検診等を受診した被保険者に対し、自己 負担分を助成した。 【事業実績（受診者数）】 胃がん検診（397人）、大腸がん検診（943人）、肺 がん検診（1,235人）、乳がん検診（305人）、子宮 頸がん検診（262人）、前立腺がん検診（718人）、 肝炎ウイルス検査（74人）、女性（39歳以下）の健康 診査（14人）	健康増進法	肺がん検診受診者 数	人	1,235	1,278	1,274	1,230	1,230	1,230	国庫 支出金							H26 以前	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施しております が、事業内容に変更はありま せん。	維持	がんの早期発見、早期治療 につながることから、今後も 事業を継続することが相当 である。	事業を継続し、 がんの早期発見、 早期治療、医療費 の削減を図っていく。					
										H27	上記のとおり 【事業実績（受診者数）】 胃がん検診（341人）、大腸がん検診（972人）、肺 がん検診（1,278人）、乳がん検診（356人）、子宮 頸がん検診（244人）、前立腺がん検診（655人）、 肝炎ウイルス検査（66人）、若い世代（19～39歳）の 健康診査（13人）	上記のとおり										地方債											H27	上記のとおり			
										H28	上記のとおり 【事業実績（受診者数）】 胃がん検診（341人）、大腸がん検診（972人）、肺 がん検診（1,278人）、乳がん検診（356人）、子宮 頸がん検診（244人）、前立腺がん検診（655人）、 肝炎ウイルス検査（66人）、若い世代（19～39歳）の 健康診査（13人）	上記のとおり	がんに係る1人当 たり医療費を全道 平均以下にする（毎 年5月レポート分析： 上段が道・下段が 各市）※疾病分類 20分間の新生物より	上記のとおり		円	4,047	4,078	4,078	4,078	4,078	4,078	一般 財源												H28	上記のとおり	
										合計														4,924	4,819	5,357	5,443	5,443					5,443				
4	1-①	インフルエ ンザ予防接 種助成金	保健 福祉 部	国民 健康 保険 G	H13	-	ソフト	国民 健康 保険 特別 会計	高齢者等がインフ ルエンザに罹患す るのを防ぎ、罹患 しても重症化する のを防ぐことを目 的とする。	H26	国民健康保 険被保険者 65歳以上の国民健康保険被保険者と60歳以上65歳未満で 身体障害者手帳1級（心臓、腎臓、呼吸器の機能障害または ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能のみ）を所持する 国民健康保険被保険者に対し、インフルエンザ予防接種の 自己負担額を助成した。 【事業実績】 ・65歳以上：2,740人 ・60歳以上65歳未満：132人	予防接種法	接種率 ※（接種者数）/ （被保険者数）で 積算	%	47.0	45.7	50.0	50.0	50.0	50.0	国庫 支出金							H26 以前	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施しております が、事業内容に変更はありま せん。	維持	インフルエンザの罹患や重 症化の予防につながることに より、今後も事業を継続する ことが相当である。	事業を継続し、 高齢者等のインフ ルエンザの予防、 医療費の削減を 図っていく。					
										H27	上記のとおり 【事業実績】 ・65歳以上：2,716人 ・60歳以上65歳未満：119人	上記のとおり																							H27	上記のとおり	
										H28	上記のとおり 【事業実績】 ・65歳以上：2,716人 ・60歳以上65歳未満：119人	上記のとおり	65歳以上の被保険 者の内、5割以上の 接種を目標とする。 （上段は65歳以 上被保険者数の約5 割の人数、下段は 接種者人数）	上記のとおり		人	3,050	3,100	2,750	2,750	2,750	2,750	一般 財源													H28	上記のとおり
										合計														6,742	7,811	9,207	8,827	8,827					8,827				
5	1-①	健康診査事 業	保健 福祉 部	健康 推進 G	S57	-	ソフト	一般 会計	市民を対象とした 健康診査の実施に より、生活習慣病 の早期発見と疾病 初期での早期治療 を推進し、市民の 健康の保持・増進 を図ることを目的 とする。	H26	40歳以上の 市民（子宮 頸がん20歳 以上女性、 前立腺がん 50歳以上男 性） 市民を対象に健康診査、各種がん検診、肝炎ウイル ス検査、歯周疾患検診を実施した。 【事業実績（受診者数）】 胃がん検診（1,140人）、大腸がん検診（2,710 人）、肺がん検診（3,122人）、乳がん検診（1,118 人）、子宮頸がん検診（1,201）、前立腺がん検診 （1,293人）、肝炎ウイルス検査（1,001人）、歯周 疾患検診（25人）	健康増進法・がん 対策基本法	大腸がん検診受診 者数	人	2,710	2,667	2,800	2,800	2,800	2,800	国庫 支出金	がん検診推進事業 費補助金	3,893	1,024	475	694	694	694	H26 以前	市民を対象とした各種健康診 査を実施することにより、疾 病の早期発見、早期治療が でき、市民の健康の保持・増 進に資することができるため 、事業の継続は必要である。さ らに一歩進んだがん予防対策 として、ピロリ菌検査を導入 し、5年間の成果を分析評価 していく。 また、平成28年度より、ピロ リ菌検査の対象を中学生に 拡大し実施することにより、 さらなる胃がん予防の推進を 図る。	拡大	市民を対象とした各種健康診 査を実施することにより、疾 病の早期発見、早期治療が でき、市民の健康の保持・増 進に資することができるため 、事業の継続は必要である。さ らに一歩進んだがん予防対策 として、ピロリ菌検査を導入 し、5年間の成果を分析評価 していく。 また、平成28年度より、ピロ リ菌検査の対象を中学生に 拡大し実施することにより、 さらなる胃がん予防の推進を 図る。	受診の個別動員や 未受診者対策を 実施するなど、より 一層受診者の拡大 を図り、市民の健 康増進の向上に努 めていく。				
										H27	40歳以上の市 民（子宮頸 がん20歳以 上女性、前 立腺がん50 歳以上男性 、ピロリ菌 50歳55歳60 歳65歳の節 目年齢） 市民を対象に健康診査、各種がん検診、肝炎ウイル ス検査、歯周疾患検診を実施した。 【事業実績（受診者数）】 胃がん検診（1,067人）、大腸がん検診（2,864 人）、肺がん検診（3,330人）、乳がん検診（937 人）、子宮頸がん検診（768）、前立腺がん検診 （1,135人）、肝炎ウイルス検査（1,057人）、歯周 疾患検診（58人） ピロリ菌検査（488人）	上記のとおり																						H27	上記のとおり		
										H28	40歳以上の市 民（子宮頸 がん20歳以 上女性、前 立腺がん50 歳以上男性 、ピロリ菌 50歳55歳60 歳65歳の節 目年齢） 上記に加え、ピロリ菌検査については、成人の 節目年齢対象者に加え、中学2年生（初年度は 3年生も含む）の若年層にも対象を拡大して実 施する。	上記のとおり	肺がん検診受診者 数	人	3,122	3,116	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	一般 財源	健康診査受診者負担 金・後期高齢者医療広 域連合会や小推進事業 補助金・ふるさとまち づくり応援補助金	5,155	7,077	7,009	5,583	5,583	5,583					H28	上記のとおり		
										合計														45,078	40,241	45,228	43,475	43,475	43,475								
6	1-①	後期高齢者 保健事業費	保健 福祉 部	年金・ 長寿 医療 G	H21	-	ソフト	一般 会計	検診と運動機会 の増加を図ること により、後期高齢 者医療被保険者の 健康を増進するこ とを目的とする。	H26	後期高齢者医療制度被 保険者 後期高齢者医療制度の被保険者に対し、短期 人間ドック、脳ドック、千円ドックの受診、水 中運動教室への参加に要する費用の一部を助成 した。	高齢者の医療の確保に關 する法律、特別市高齢者医 療短期人間ドック助成実施要 綱、特別市高齢者医療脳 ドック助成実施要綱、特別 市後期高齢者医療千円ド ック助成実施要綱、特別市 プール水中運動教室参加助 成実施要綱	各種ドック受診者 数 （上段：短期人間 ドック、中層：脳 ドック、下段：千 円ドック）	人	112	164	194	173	173	173	国庫 支出金							H26 以前	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施しております が、事業内容に変更はありま せん。	維持	後期高齢者の健康増進のた めに必要な事業であり、か つ、北海道後期高齢者医療 広域連合の補助を受けて実 施していることから、有効 性及び効率性が認められ る。	今後も後期高齢 の健康増進のた めに積極的 に取り組んで いく。					
										H27	上記のとおり	上記のとおり																							H27	上記のとおり	
										H28	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり	水中運動教室参加 者数	人	258	278	319	330	330	330	一般 財源		87	243	112	94	94					94	H28	上記のとおり		
										合計														5,538	6,750	8,210	7,246	7,246					7,246				

NO	施策	事業名 【事務事業 コード】	部名及びグ ループ名	開始 年度	終了 年度	事業 区分	会計 種別	大型 事業 推進 プラン 掲載 事業	Plan・Do																Check			Action					
									事業概要				事業の成果、目標						各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】						第2期基本計画第3次実施計画期間 (H24～H27)及び平成28年度にお ける事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項 など (妥当性、有効性、効率性、成 果)	今後の事業の方 向性 【H29以降】					
									事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業 の場合は、施 設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、 要綱等	指標名	単位	H26 実績	H27 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標	名称	H26 決算	H27 決算					H28 予算	H29 予算案	H30 予算案	H31 予算案	
14	3-②	予防接種事 業	保健 福祉 部	健康 推進 G	S23	—	ソフト	一般会計	各種の予防接種を実施して免疫をつけることで、感染症による病気の発生を未然に防ぐことにより、保健予防活動の充実を図ることを目的とする。	H26	予防接種法により定期予防接種の対象となっている市民	予防接種法に基づき、各種感染症にかかる定期予防接種を実施した。 【事業実績】 A類：ポリオ241人、BCG328人、3種混合92人、4種混合1,243人、2種混合371人、麻しん風しん混合686人、ヒブ1,317、肺炎球菌(小児)1,283人、水痘763人 B類：インフルエンザ(高齢者)8,854人、肺炎球菌(高齢者)1,731人	予防接種法	BCGの接種者数	人	328	285	320	320	320	320	国庫 支出金							H26 以前	平成24年9月不活化ポリオワクチンの導入により個別接種開始。 平成26年度より3種ワクチン(ヒトパピローマ、ヒブ、小児肺炎球菌)の期接種化に伴い、3種ワクチン接種助成事業を廃止して予防接種事業に統合。 平成26年10月より水痘及び肺炎球菌(高齢者)を追加。	拡大	予防接種は、多くの疾病の流行の防止に大きな効果があり、感染症による患者の発生や死亡者の大幅減少をもたらすなど、感染症対策上きわめて重要な役割を果たしてきていることから、事業の継続が相当である。 また、平成28年10月より、B型肝炎ウイルス予防接種が予防接種法により、定期接種と位置付けられたことから、これを追加して実施する。	市民の免疫水準の維持のため、予防接種法に基づき、予防接種事業を実施することで、市民の接種機会を安定的に確保するとともに、接種率の向上に努める。
H27	上記のとおり	上記のとおり、定期予防接種を実施した。 【事業実績】 A類：ポリオ64人、BCG285人、3種混合1人、4種混合1,147人、2種混合395人、麻しん風しん混合590人、ヒブ1,176、肺炎球菌(小児)1,162人、水痘640人 B類：インフルエンザ(高齢者)8,889人、肺炎球菌(高齢者)1,531人	上記のとおり									地方債								H27	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。												
H28	上記のとおり	上記に加え、日本脳炎予防接種を平成28年4月から追加して実施中。 また、平成28年10月よりB型肝炎ウイルス予防接種を定期接種として開始する。	上記のとおり										その他	インフルエンザ予防接種料負担金、後期高齢者医療広域連合すこやか推進事業費補助金	7,290	8,432	9,823	9,449	9,449	9,449	H28	平成28年4月より日本脳炎予防接種を定期接種として開始。 また、平成28年10月からB型肝炎ウイルス予防接種を定期接種として実施する。											
															一般 財源	103,228	97,427	133,151	139,000	139,000	139,000	H28											
															合計	110,518	105,859	142,974	148,449	148,449	148,449												